

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	静岡県立大学の男女共同参画における地域ジェンダー平等推進と 国・地方男女共同参画センター連携事業に関する基礎研究				
研究組織	代 表 者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	犬塚 協太
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・助教	氏名	青山 知靖
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発 表 者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	犬塚 協太

講演題目
静岡県立大学の男女共同参画における地域ジェンダー平等推進と 国・地方男女共同参画センター連携事業に関する基礎研究
研究の目的、成果及び今後の展望
【目的】男女共同参画社会の実現に関し、特にコロナ禍以降地域における男女を取り巻く状況は、生活や労働のさまざまな局面で多くの困難な新規課題を抱えつつある。こうした現状をふまえ、本研究は、特に A. 国の掲げる地域ジェンダー平等推進関連主題に対する地方男女共同参画センターと地域各アクター連携事業の先進的事例に関する事例資料、および B. 同主題に対する地方センターと大学との連携事業の特徴的事例に関する事例資料に基づく実証的研究を行うことを目的とした。 【成果】今回の調査の結果、地域の各センターが上記の目的に沿って実施する連携事業展開は、コロナ禍以降の社会変化に即してより進化した形で行われている実態が確認されたが、このうち A. についてはさらに A-1. 地域民間団体・企業等との連携事業と、A-2. 地域個人人材との連携事業に大別することができることが明らかとなった。A-1 について特に注目されるのは、国との連携の下で近年強化されてきている重要テーマに関する事業が目立ってきていることである。中でも政治分野での女性参画の遅れを反映して、地域のセンター独自でその要因調査を行った事例(福岡県北九州市)や、民間団体と連携して女子高校生に特化した主権者育成に取り組んだ事例(大阪府大阪市)など、そこには多様な形の新たな事業展開が認められる。また A-2 については A-1 とはまた異なり、地域のセンターが、国がとりわけ最新のジェンダー課題として掲げている新規テーマに関して取り組んだユニークな事業が現れていることである。たとえば、女性特有の生理的变化に対応して更年期などにおける女性の仕事と健康の両立支援を目指す講座事例(大阪府高槻市)や、未婚化社会における女性リーダーのあり方に関する啓発事業事例(滋賀県近江八幡市)、あるいは男性による地域の男性の脱ジェンダー生活支援事業事例(東京都品川区)など、優れた知見を有する個人との連携ならではのきめ細かな視点からの多彩な対象に向けた事業の進展を見て取ることができる。一方で B については、国が地域での緊密な連携事業の実施を求めている方向性に関連して、たとえば、女性 DX 人材の育成を女性工学研究者との連携によって実施する事業(千葉商科大学)、ジェンダードイノベーションの専門研究者の知見によってジェンダー問題解消を目指す講座事業(お茶の水女子大学)、女性のライフステージと心身の変化に即応して望ましいワークライフバランスの実現を女性医学研究者との連携によって支援する事業(奈良大学)など、その主題や内容において従来にない新規の取組がさら進展している状況が確認された。 【今後の展望】これらの成果を踏まえ、今後は本学における上記目的での国や地域センターとの連携事業の一層の推進をめざして様々な地域ニーズの方向性を丁寧に押さえ、先進好事例の情報収集と分析を継続的に行いつつ、ジェンダー平等に関する新規事業の可能性を探ることが重要と考えている。